

(前頁から続く)するよう誘われました。在学中は、わ についてはなんの知識もなかっただけにサポートの話には大きな戸惑いがありました。

人の輪づくりの難しさは、地元の花壇や公園のボランティアをする中で、実感しております。皆様方の仲間に入らせていただいて日も浅く、分からないことばかりですが、先輩諸兄姉が各分野で熱心にボランティア活動に取り組んでおられる姿を見るにつけ、ただただ敬服するばかりです。

この刺激を大切にしながら、自身が辿ってきたささやかな社会体験を「他のために」少しでも役立てることが出来ればと思っています。微力ではありますが、先輩を鏡にして和をモットーに頑張りますので、会員各位のご支援、ご協力をお願いいたします。

2年目を迎えて

事務局次長 高橋 孝男(国 9期)



グループ わ の事務局を担当し、この度2年目を迎えることになりましたが、この1年間多くのことを知りました。

その一つに毎月届けられる活動報告をパソコンのデータベースに打ち込みながら、大勢の会員の皆様が多くの人々を対象に活躍されている様子が浮かんで参ります。

残念ながら現場に足を運んで拝見させて頂いたり、体験の機会が少ないため、そのご苦勞の一端をお察しするのみですが、事務局として少しでもお役に立てるよう努めますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。

縁の下の力持ちとして

事務局次長 高木 稔雄(国 10期)



カレッジ卒業後は、在学中に始めた趣味とボランティアに専念するつもりでしたが、わ 本部の手伝いをしてくれないかとの電話があり、お手伝いくらいなら、と軽い気持ちで入会しました。しかし、いきなり事務局次長などという大層な肩書きを戴きいささか戸惑っているところです。

この二ヶ月ほど、わ の事務局において、非常に多忙であること、そして皆さんがてきぱきと業務を処理されて

いることが印象的でした。

本部の存在意義は、現在第一線でボランティア活動されている方々の活動をサポートし、またボランティア活動の機会を待っておられる方々にボランティアの場を提供することにあると思います。

まだ慣れない点も多々ありますが、一時でも早いいわば縁の下の力持ちとしてそういった方々のご期待に沿えるように、微力ながら尽くしていきたいと考えております。

現場支援に全力投球

事務局次長 加藤 勇治(美 10期)



「カレッジ卒業を機に、これから少しは世のため、人のためになることをせねば。」という反省の気持ちもあって、乞われるまま わ の仕事

を引き受けました。

グループ わ は今や 1000 名を超える会員を擁し、市内有数のボランティア団体として注目されつつあります。少子高齢化が進む社会にあって、経験豊かなシルバー人材を擁する わ の活動は今後ますます重要性を増すに違いありません。

わ には有能な方が数多くボランティア活動志願者として登録されています。一人でも多くの方がボランティア活動に加わり、社会貢献を実感いただけるよう、活動現場をサポートする事務局の果たすべき役割は非常に大きなものがあります。

「再び学んで他のために」を実践するには未熟で経験不足ですが、精一杯取り組み、「縁の下の支え」として現場支援に全力投球する所存です。

来年 10 周年節目の年

財務担当 大西 隆史(生 8期)



昨年度は私たちグループ わ にとって、NPO 法人格認可の 2 年目の年でありました。会員の皆様の献身的なご努力と関係機関のご協力の

お陰で、従来の活動に加え、「神戸市こども家庭センター」電話相談の新規受託業務や、こどもたちへの学習支援活動といった新たな活動を展開することができました。財務の内容におき

ましても、正味財産が前年度と比べて約 160 万円あまりの増加という結果になっております。これらは会員数の増加もありますが、こうべ環境未来館、こども家庭センターの受託業務に従事しておられる方々の寄与が最も大きな要因だと思っており、厚くお礼を申し上げる次第です。

来年はグループ わ の創立 10 周年の節目の年にあたり記念事業の実施が計画され、それについての出費が予想されますが、NPO 法人に相応しい少しでも社会に貢献できる行事にする必要があると思います。

喜びをともに味わおう

財務担当 藪口 卓也(園 10期)



6 月のしあわせの村一緑の木々、色とりどりの草花、ほととぎすの声、こころ楽しめるものが溢れています。一度、グループ わ にお出で

になりませんか。趣味を楽しみつつ、そのことが他の人々の心を少しでも楽しく出来れば、何と素敵なことでしょう。ついつい迷い込んでしまったグループ わ の世界ですが、まずは前任財務担当の大西理事をお助けして、財務基盤の確立に努め、皆様のボランティア活動が一層喜びを分かち合えるものとして発展することにお役に立てれば幸いです。

活動の活性化に向けて

広報部長 西阪 順三(生 8期)



情報ぎやらりーの編集を引き継いで早や 1 年。まだ未熟なパソコン技術を駆使して紙面づくりにただ忙しい日々を送る 1 年でした

この間、情報ギャラリーに対するいろんな意見やご批判を頂き、大いに励みになりました。

昨年からはじめた 子供たちの学習支援活動 は、これからのグループ わ の活動の根幹になる事業であります。微力ながら学習支援にも参加、活動内容を逐一取り上げて支援活動を盛り上げてきました。

今年はグループ わ のボランティア活動の活性化が課題であり、紙面や HP を通じて積極的に PR します。